

## ●寒い中にも春の気配が感じられる季節です。

この時期は、二十四節季でいう立春の季節です。今年は暖冬で、春に咲く花の開花が早まりそうですが、まだ北風が身に染みます。油断せず暖かい服装で、てくてく散歩をお楽しみください。

### ●冬の里山で暮らす野鳥

■園内ではこの時期になると、昆虫や植物の種子や花の蜜など、豊富な食料を求めて飛来する野鳥を数多く観察することができます。秋になると避寒のため、北方から渡ってくるツグミやジョウビタキなど身近に暮らす冬鳥をご紹介します。近年では温暖化の影響で気温の上昇とともに、渡りの時期も変化が生じているようです。



ヒヨドリは1970年頃までは冬鳥でした。しかし、温暖化の影響か、現在は一年中観察できる留鳥になってしまったようです。



### 今月の鳥 「カワウ」

カツオドリ目ウ科に分類されるカワウ。魚とりが上手な大型の水鳥で、魚や甲殻類などをよくたべます。普段は集団で生活しており、夜明けになると群れでエサ場に移動します。V字形の編隊を組んで飛ぶため、ガンとみまちがえられることもあるそうです。また繁殖期には、ねぐらの水辺にコロニーと呼ばれる集団営巣地をつくり繁殖を行います。環境の悪化により一時は個体数が激減したものの、現在は回復し、むしろ増えすぎて漁業への影響が懸念されていることに加え、コロニーを作る際、生きた樹木の枝を折ることや、大量の糞により近辺の樹木は枯死することが問題となっています。昔は自然が多かったため、自然が多少破壊されても影響がなかったのですが、現代では自然が少なくなったためか、カワウが自然や人間社会に与える影響が相対的に大きくなっているようです。

### ●梅の香り漂う『御所の梅林』

■この地は鎌倉公方足利成氏(あしかがしげうじ)が1455年に古河に移座し、初代古河公方と名乗った地で、以来175年間、古河公方やその子孫により鴻巣御所として使われてきました。現在、その一角にウメを植樹し、『御所の梅林』と名付け、時期になると紅白のウメが漂う梅林となりました。



### 梅は古代中国から来た！？

日本にあるウメは、一説によると弥生時代に渡来したと考えられています。また、奈良時代から庭木として楽しまれ、江戸時代には果実の栽培も行われていました。

### ★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga\_kubou
- X (旧 Twitter) @kubou\_park

### インスタグラムアカウント



### X (旧ツイッター) アカウント

